

慣用句その13

名前 解答

解答

問 次の文の意味の慣用句を [ ] から選べ。

① 物事の是非や善悪をはつきりつけること。

( 白黒をつける )

② すらすらと言葉が出てくる様子。

( 立て板に水 )

③ はつきりと気づいていなかった考えや疑いが浮かんでくること。力や勢いなどが目立つようになること。

( 頭をもたげる )

④ 自分に合う環境を得て、いきいきしている状態。

( 水を得た魚のように )

⑤ 相手の弱みにつけ込んで、自分の有利なようにすること。

( 足元を見る )

⑥ 働く人の人数が足りないこと。

( 手が足りない )

⑦ 口が達者で、(へ)理屈を並べて言い返すこと。

( 口が減らない )

⑧ 将来にわたって気長に見守ること。

( 長い目で見る )

⑨ 心配事や嫌なことがある、顔をしかめること。

( 眉をひそめる )

立て板に水 水を得た魚のよう 足元を見る  
 白黒をつける 長い目で見る 口が減らない  
 眉をひそめる 頭をもたげる 手が足りない

① はつきり言わずに曖昧にすること。

( 言葉を濁す )

② 相手の不意をつき、驚かせること。また慌てさせること。

( 一泡吹かせる )

③ 相手が非常に優れていて、比べ物にならないこと。

( 足元にも及ばない )

④ みんなが同じことをいうこと。

( 口をそろえる )

⑤ 関係する範囲を広くする。仕事の規模を大きくする。

( 手を広げる )

⑥ 非常に激しく怒ること。かんかんになること。

( 頭から湯気を立てる )

⑦ 交通手段が利用できなくなり、移動が困難になること。

( 足を奪われる )

⑧ 相手の気持ちや考えをうかがうこと。

( 腹を探る )

⑨ 細かいところまで注意が行き届くこと。

( 目が届く )

頭から湯気を立てる 目が届く 言葉を濁す  
 足元にも及ばない 口をそろえる 腹を探る  
 一泡吹かせる 足を奪われる 手を広げる

